



花穂の部分



ショウブ Acorus calamus. アコルス カラムス 画/植田由喜子

サトイモ科ショウブ属 観賞植物のセキショウと同族、ユーラシア大陸全般に自生。ショウブは元来旧暦の五月五日端午の節句にヨモギと共に風呂へ入れ邪気を払い、男子の健やかなる生長を祈った。本種に葉が似て、花が美しく咲くことから、ハナシヨウブ(アヤメ科)である。 亮軒記

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東横2-18-13 Tel. 052-931-8701
http://nagoyaangei.co.jp/

18 6

名古屋園芸

Anthurium For Men



バースデーフラワー

～アジサイ～



アジサイBOXアレンジ



アジサイブーケ



アジサイリースアレンジ

山々の緑もひと際とに色を深めてまいりました。そんな6月におすすめのバースデーフラワー、「アジサイ」はいかがでしょう。アジサイは日本や中国、台湾、北アメリカ原産の落葉低木です。樹高は1〜2mほど。5〜7月にかけて青やピンクの花を咲かせ、雨にぬれても元気なことから、梅雨の代名詞ともいわれています。花のように見える部分は、花びらではなく葉が変形した萼(ガク)と呼ばれるもの。品種改良が進んで、萼が花の周囲を縁取るように並んだ「ガク咲き」、萼が球形になった「手まり咲き」、幾重にも萼が並んだ「八重咲き」や「覆輪」など、見た目も様々です。そして今主流となっているハイドランジアは、別名、西洋アジサイと呼ばれ日本原産のガクアジサイを原種としてヨーロッパで品種改良されたもの。のちに逆輸入され、その色鮮やかな特徴から人気を博しました。

もちろんアレンジフラワーギフトとしてもおすすです。日持ちが良く、様々な花との相性は良く、さらに魅力的なのはそのデザイン性に長けたフォルムにあります。BOXに可愛らしくあしらったり、スタイリッシュにブーケにしたり。そんな魅力たっぷりなアジサイ。今月は花言葉添えてアジサイでコーディネートされたフラワーギフトをおすすめいたします。

information

季節をたのしむ 花あそび
初夏のオススメ『花の講座』

夏の気配が感じられるこの頃、この季節だからこそ楽しめる「花あそび」を体験してみませんか？



講座№9 まるでスイーツみたい！
涼しげなゼリーアレンジ (1dayレッスン)
6月16日(土) 13:30~14:30
講習費: 1,000円+税 材料費: 3,000円+税

ガラス器に色とりどりの給水ゼリーと初夏の爽やかな花々や実物などをあしらって、まるでゼリーのようなフォトジェニックなアレンジメントを作ります。気分はまるでパティシエ！はじめての方でもカンタンに作っていただけます。ぜひ体験してみてください。

◇お申し込みは
花の講座専用電話 TEL: 052-937-3391
受付時間 月~金曜日 9:00~17:00
Webでのお申し込みは24時間OK!

こちらからもどうぞ →



花の博物館

第269回

卓袱會席趣向帳

浪花 亮傳子著
昭和八年(二七七二) 西村市郎右衛門他刊
小笠原左衛門亮軒

本書の凡例の文中に、
一、しつぽくといふ詞は肥前(ひづま)の長崎にていふ言葉にしておそらくは肥前ならん 唐にては八幡といふて猪豚の肉を専に用ゆる事也 是彼國は米穀の味饒なるゆへなり 日本は米穀の味方國にまさりて厚味なり 故に肉脂の力をかるとおよばず殊に繁華の地に遊戯する人は常に厚味を食すゆへに

以降読んでみると、長崎へ渡来した中国料理を、日本風にアレンジした料理を「しつぽく」と呼び、以下七十頁の記述がある。

卓袱會席趣向帳
挿入中の詩 読み左の通り
法者本来無法 法は本来法無し
無法之法亦法 無法の法また法
縦横は天地育 縦横これ天地に育
方円曲直自法 方円も曲も直も自法
泉南瓦山神師漫書

ツルのない朝顔



夏を代表する園芸植物である朝顔。古典的な日本の夏の風物詩のイメージを残しつつも、切り口を変えれば現代的なデザインのモチーフにもなり得る存在です。一方、朝顔は「和」だけにとどまらず、遠くヨーロッパでも葛飾北斎を経由して、100年前のオール・ヌーヴォーと呼ばれる美術運動の作品群においてモチーフとして登場します。

朝顔の絡まり合うツルや大輪の花形が与える印象と、当時の曲線を重要視した風潮が合致していたからでしょうか。では、もしそんな朝顔のツルを栽培中に意図的に切ってしまったら、朝顔は一体どうなってしまうのでしょうか。

その答えは写真をご覧いただければお分かりの通り、ツルが無くとも花は咲くのです。この仕立て方を正式には「名古屋式盆栽切込み作り大輪朝顔」と呼びますが、「名古屋朝顔」と略するのが一般的です。名古屋朝顔の始まりは明治20年ごろ、当時の業種問屋の盆栽好きな主人が朝顔の丈を低く盆栽風に仕立てたらどうだろうとツルを切って栽培したことによります。その後、この仕立て方を研究し、普及に努めた名古屋朝顔会によって今日まで名古屋朝顔の歴史は続いているのです。ツルの無い低い位置で花を咲かすには、本葉3枚目より上のツルを摘芯し、1~2枚目の本葉の脇から生える子蔓が重要で、ここに花芽が着き開花を迎えます。

ツルが自由に伸びゆく様を芸術作品に持ち込んだアール・ヌーヴォー時代の芸術家たちと、そのツルを落として朝顔を盆栽という園芸に近くて遠かったカテゴリーに持ち込んだ名古屋朝顔栽培家の皆さん。朝顔という植物はヒトが芸術的発想を掻き立てられる存在なのかもしれません。

- ◇第三回名古屋朝顔祭◇
2018年7月6日(金)~16日(月)
毎日午前9時~午後朝顔開花終了まで
- 《販売》
 - ・朝顔 1鉢1500円(税込)
 - ・東京入谷風行灯仕立て (1鉢4本植)
 - ・名古屋園芸オリジナル朝顔手ぬぐい
 - ・名古屋朝顔の栽培に最適な黒箱香炉鉢
- 《展示》
 - ・名古屋朝顔
 - ・変化朝顔
 - ・江戸時代に描かれた朝顔にまつわる浮世絵

